

学区住民の誰もが
共に安心して
暮らせる
生活環境作り



平成30年10月

第 56 号

編集発行

口田学区町内連合会

口田学区各種団体

口田学区町内連合会

西日本を襲った豪雨災害

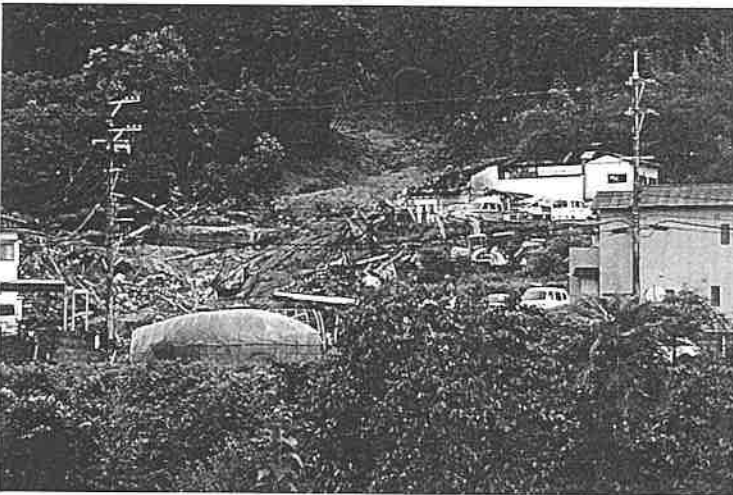
口田地区は各所で被害続出

広島、岡山両県の沿岸部を7月6日から翌7日未明にかけて集中豪雨が襲い、広範囲に渡って甚大な被害が発生しました。広島県では広島、呉市を中心に死者・行方不明者114人、建物の全壊1029棟に及びました。

このうち、安佐北区口田地区の災害現場は口田南3丁目で住宅七棟を飲み込む大規模な土砂崩れが発生、老女一人が犠牲になりました。口田南5丁目から同7丁目にかけて矢口川流域では土砂崩れ、護岸の崩落などで川が氾濫。流域の住宅が浸水被害に遭いました。ここでも土砂



口田南3丁目の土砂崩れ現場＝巨大な岩を巻き込んだ大規模の土砂崩壊は民家7棟飲み込んだ。累々とした土砂堆積はこれまでの風景を一変させた。



口田南5丁目の土砂崩れ＝民家二棟を押しつぶした土砂崩れの爪痕。ここで親子二人が犠牲になった。

に押しつぶされた住宅から親子2人が犠牲になりました。

さらに、矢口川の流水を受け止める矢口水門が機能不全に陥り、水門からJR矢口駅の周辺一帯が冠水。床上、床下浸水の被害を受ける住宅が続出しました。

これら災害は同時に発生したことで、地域は恐怖と混乱状態に陥りました。土砂に埋まる家々、がれきの堆積がこれまでののどかな風景を一変させました。交通インフラは各所で寸断。一時、交通機能はマヒ状態になりました。がれきの堆積物で塞がれたバス路線は、約一か月余り迂回路に変更、不通になった芸備線は17日後にやっと一部区間が復旧しました。

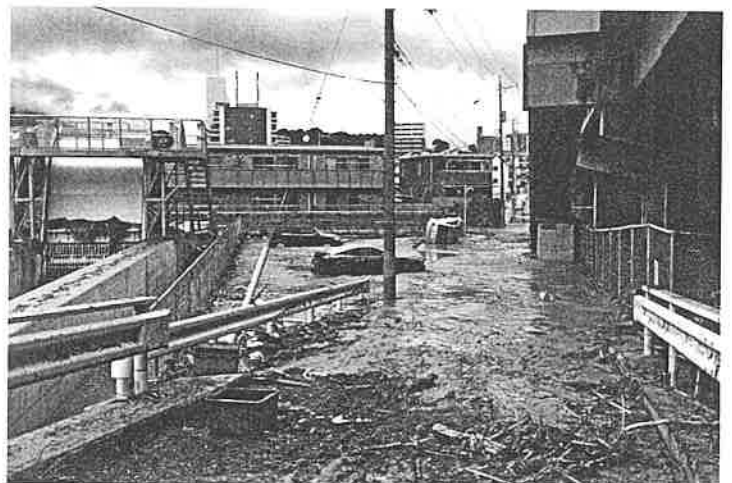
今まで経験したことのない未曾有の災害に見舞われた。多い時で一日千人を超したボランティア参加の皆さんから献身的な支援を受け、地域の復旧に懸命に取り組んでいます。

町内連合会会長挨拶

今年、7月豪雨による大被害が発生し被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。災害に強い街づくりを目指していましたが、自然の猛威には成すすべがなく、今後の課題となりました。再び災害に見舞われないための方法を皆様方と共に英知を結集し、防災マップの作製に力を入れたいと思います。県の方に土質調査（8月24日に西部建設事務所）をお願いを提出を求めています。

災害に強い街づくりを考えて行きたいと思えます。またいつ災害が起きても不思議ない。今、自助、共助、公助の原則を考慮して災害に強い口田学区作りを進めていきたいと考えています。ご支援、ご協力賜りますようお願いいたします。

口田学区町内連合会 会長 越智 兼光



矢口水門周辺の冠水現場＝矢口川の氾濫で濁流が迫り、矢口水門周辺はまたしても冠水。多くの住宅が床上、床下浸水の被害を受けた。

青少年健全育成連絡協議会

災害で多くの行事が中止

この度の豪雨災害で、口田小学校区は甚大な被害を受けました。土砂崩壊、川の氾濫で、地域に大きな爪痕を残しました。でも、復興に向けて槌音も力強いものです。

災害の影響で、児童らの活動もやむなく制約を受けました。「夏休み親子ふれあいの集い」、「子ども元気フェスタ」や各種スポーツ大会が中止となりました。地域の子どもたちにとって今年の夏休みは決して楽しいものではなかったようです。

口田青少年協では地域の子どもたちにも少しでも元気をだしてもらいたいと考え、中止となった「親子ふれあいの映画会」を11月中旬頃にずらして

実施する日程を調整しています。楽しみに待っていてください。

今後の主な行事日程

11月18日(日)、真亀公民館で高陽地区青少年健全育成意見発表大会を予定。

(伊藤)



体育協会

学区行事の結果報告

町民の皆様方には体協運営・活動に多大なご協力を頂き、ありがとうございます。

- ◎第28回各種団体スポーツ大会(4月29日、12団体27チーム参加)
優勝 悠々クラブ寿会▽二位 小田長寿会 A▽三位 小田長寿会 B
- ◎第38回ソフトテニス大会(5月13日、3町内参加3チーム参加)
優勝 ふじランド▽二位 下矢口▽三位 上小田西
- ◎第36回バドミントン大会(6月10日、7町内9チーム参加)
優勝 小田▽二位 ふじランド▽三位 下矢口、上小田東
- ◎第45回ソフトボール大会(6月17日、6町内6チーム参加)
優勝 上小田東▽二位 下矢口

- ◎第46回女子バレーボール大会(6月17日、6町内6チーム参加)
優勝 下矢口▽二位 上小田西
- ◎第43回卓球大会(7月1日、10町内参加8チーム参加)
優勝 上矢口▽二位 小田▽三位 上小田西、連合(中小田・宮ノ岸・弘住・中矢口)
- 《区民スポーツ大会の報告》
バドミントン優勝▽ソフトテニス優勝▽ペタンク3位▽卓球3位▽ゲラルウンドゴルフ3位
上記入賞の5クラブは10月14日開催の広島市大会に安佐北区代表で出場します。

(村井)

防犯組合

絆の大切さを知った

このたびの豪雨災害で被災された皆様にご心よりお見舞い申し上げます。一日も早い被災地の復興と、皆様の心身の健康をお祈り申し上げます。

今回の災害を通じて、絆の大切さを改めて感じました。地域の人たちの優しさ、ボランティアの人たちのあたたかさ。地域全体が助け合いながら、一丸となって復興に取り組んだ2か月間だったと思います。

災害の影響を受けた口田小学校も8月20日から授業が始まりました。豪雨災害が発生した翌日から学校に行けなくなった児童たちは、悲惨な災害現場に直面し、地域住民がボランティアの方々の助けを借りて、懸

念に復興に立ち向かう姿を目撃しました。
ボランティア活動の意義や協力し合う本当の絆を直に勉強したので、ボランティアの皆さんには本当に感謝しています。
しかし、こうした災害地でも犯罪は起るのです。これからもより一層、犯罪や事故のない安全で、安心して生活できる町にするための努力が必要です。
空き巣などが起こる恐れがあります。フェイクニュースや疑わしいメール、義援金を語った詐欺などが心配です。自分ひとりで判断せず必ず身内や最寄りの機関に相談してください。
(垣内)

公衆衛生推進協議会

献血の協力に感謝

今年度1回目の献血活動を7月1日フレスタ口田南店で実施しました。当日は日赤献血車のシステム不具合が発生し、昼前にやっぴとトラブルが解消。それから受付となりました。献血に来て頂いた方には大変ご迷惑をお掛けいたしました。

暑い中、公衛協をはじめ、女性会、青少年協などのみなさんの協力を得て献血作業も進み、最終的に56人が献血に応じていただきました。内訳は採血者38人で、比重不足等の理由で採血できなかった方が18人でした。ご協力いただきましたみなさんには感謝申し上げます。

これから秋に向けて、新鮮な血液が不足するシーズンを迎えます。どうか、こうした献血活動を見かけることがありましたら、献血にご協力をお願いいたします。
口田学区での2回目の献血は、来年2月17日(日)口田郵便局前で予定ですが、その際は、事前にパンフレット等配布しますのでご協力をお願いいたします。
クリーン太田川は中止
西日本豪雨災害で、7月22日実施予定のクリーン太田川は中止となりました。絵坂川、矢口川の清掃は災害前に担当町内会が実施していましたが、豪雨災害の痛ましい傷跡を見るにつけ、無念さが残ります。
これからも口田学区内の環境美化に力を合わせて頑張りますのでご協力をお願い致します。
(栗本)

子ども会育成協議会

地域の復興を願って

口田小学校の夏休み明け授業の再開にあたり、豪雨災害で被災された地域にお住まいの子どもたちの安全な通学路を確保するため、小学校の先生方や教育委員会、地域の皆さまと協議に参加致しました。

甚大な被害を受けた小田地域の通学路が寸断され、復旧には長期間かかることが分かり、通学路の変更を余儀なくさせられました。

ふじランド入り口の主要道交差点での旗振りに加え、中小田バス停そばの横断歩道を通学路の迂回路として利用。ここで、安全誘導の旗振りを行います。当面、二カ所での旗振り当番を実施します。急な当番変更

にも迅速に対応していただいたおかげで、児童たちは元気に通学が出来ます。ご協力に感謝します。

また、9月2日に予定していただいた子ども会バザーは、11月3日に『チャリティーバザー』としてふれあいセンターで開催予定です。売り上げはすべて日本赤十字社を通じて募金させていただきますので、ご協力をお願いします。小学校中庭でも、「くじ付きお菓子釣り大会」を行う予定です。多くのご参加をお待ちしております。

11月11日(日)、口田小で開催の三学区球技大会は避難所開設など緊急の場合を除いて実施する予定にしております。

(渡部)

女性会

大盛況のフリーマーケット

女性会恒例のフリーマーケットを6月9日に口田集会所、7月2日に口田南集会所で開催しました。リサイクル運動など環境問題に関心を持ってもらおう、という趣旨で開催しています。EM石鹸や無農薬肥料を使った地元野菜も販売しました。

いずれの会場とも、まずは野菜売り場に人だかりが出来、根強い人気を呼んでいました。洋服売り場にも移します。ここでは売り子さんに早変わりしたスタッフが「これがお似合いよ」と、巧みな話術で買い物客に勧めます。洋服を手品定めするなど会場はたちまちファッションショーの様です。会場内は笑いが

いつぱいの一日でした。本当にありがとうございました。

市女連創立七十周年記念大会

広島市女連は今年10月23日アステールプラザで市長、区長らを迎えて創立70周年記念大会を開催します。菊池桃子氏を迎えて記念講演「学びで輝く人生」があります。

市女連の創設は昭和23年。女性会を中心にした活動は環境問題、男女同参画、青少年育成・子育て支援、福祉、平和問題など多岐に渡ります。また日本赤十字社奉仕団員でもあります。70年という重みを大切にして更に頑張ってください。

(鎌田・下垣内・隅田・中平)

口田学区老人クラブ連合会

豪雨災害に直面して

口田地区を襲った豪雨災害により、亡くなられた方に衷心よりお悔み申し上げますと共に、被災された方々にお見舞い申し上げます。

口田地区社会福祉協議会では、いち早く『口田ボランティアセンター』を立ち上げられ、多くのボランティアのお力添えにより、復旧が進みましたことに感謝申し上げます。

危険性除去の取り組み

高齢者が日常的に抱える危険性として次のことを取り上げて注意喚起したいと思います。

【交通事故を防ごう】

高齢化が進むにつれ、交通事故の

被害者のみならず、加害者になることが増えてきました。加齢により、運転技術や判断力の低下が考えられます。

【特殊詐欺の撲滅】
従来から言われてきた電話による特殊詐欺などに加え、最近新たに法務省の名を語った架空の訴訟案件を作り上げ、はがきにより金銭要求する事例が増えています。

このようなはがきを受け取った場合には、まずは親族、警察、消費生活センターなどに相談しましょう。

※小田長寿会はこのほど開いた総会において私、田中毅が会長を務めさせていただきますことになりました。宜しくお願い致します。

(田中)

消 防 団

地元で起きた豪雨災害

7月6日から7日未明にかけて口田地区を襲った豪雨は、甚大な被害を引き起こしました。そして、私たちはその惨状を目撃したのです。

激しく降り続く雨の中で消防団は、6日午後3時から車庫待機になりました。車庫は矢口川沿いにあります。川沿いの道路から見下ろす矢口川は濁流となり、水位は増していった。その勢いはすさまじいもので、恐怖さえ覚えました。

同5時頃、車庫から上流百メートルのマンションそばの駐車場が崩れだしました。同マンション前に架った橋に、流木やがれきが衝突する音とともに、引つ掛かり、濁流がそれを超えるのです。間もなく、矢口川が決

壊しました。たちまち川沿いの道路が濁流に飲まれ、林立する家屋に容赦なく水が入ってきました。駐車場の車は水没してしまいました。

この時、「上流では土砂崩れが起きたのでは」と不安が頭をよぎりました。ですが、間もなく惨状は現実のものとなりました。矢口川上流から下流にかけて土砂崩れ、護岸の崩壊など災害の爪痕はすさまじいものでした。

今回の災害を教訓に、自分の命は自分で守る(自助)こと、近所に声をかけ、助け合(共助)ってください。今回の災害で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

(濱田)

社会福祉協議会

西日本豪雨災害

地元・口田も

甚大な被害受ける

7月6日夜から7日未明にかけて、口田地区はこれまで経験したことのない未曾有の災害に見舞われました。

その惨状は口田南3丁目の土砂崩れ現場で、民家7棟が土砂に呑み込まれ、お一人が犠牲にられました。同5丁目の上矢口から下矢口にかけての矢口川沿線が土砂崩れと護岸崩壊などで壊滅的打撃を受け、民家2棟が全壊して二人の犠牲者がました。また、JR矢口駅近くの矢口水門で、またしても増水・氾濫事故が発生。同駅周辺の民家など92棟が床上、床下浸水の被害を受けるなど災害の残した爪痕は甚大です。

地域の広範囲に渡る壊滅的な打撃を受け、社協は災害発生2日後の9日、口田ふれあいセンターに「災害ボランティアセンター」を立上げて復旧活動に着手しました。

ボランティアの受け付け、災害現場への誘導などが主な任務です。市内、県内、県外から、ボランティア参加の輪は広がりました。災害現場からは必死のボランティア要請の声が届きます。受け付け手続きを終えたボランティアの皆さんはスコップを手に、10人ほどのグループを作つては災害現場に向かいました。

ボランティア参加に勇気をもらおう

ボランティアの受け付け業務はこの二か月間、無休。町内連合会、民生委員の皆さんの応援を受け、連日忙殺される毎日でした。ピーク時に受け付けた一日のボラン

ティアは1155人に上りました。災害発生から2か月間、来る日も来る日も土砂かき作業が続きました。猛暑が襲う中、受け付けたボランティアは実に延べ8000人。中には何日も通い詰めた人もおられました。

ボランティアさんの活動のおかげで、地域の復興は進みました。被災住宅の住民も黙々と土砂排出作業に取り組みボランティアの皆さんに「立ち直りの勇気をもらった」と感謝の言葉を告げています。完全に元の生活を取り戻すにはまだまだ日にちと時間が必要ですが、何とか前に進むことができそうです。多くのボランティアさんに、私たち地元は大きな力と感動をいただきました。改めて深く感謝しています。(伊藤)

いきいきポイント、2年目に

口田小学校前の「口田ふれあいセンター」では、毎週木曜日午前、午後の二回に渡つて「いきいき百歳体操」を実施しています。口田地域包括支援センターの指導で、転倒予防、認知症や閉じこもり予防対策にも取り組んでいます。

そんな中、広島市の「いきいき活動ポイント事業」も9月、2年目に入りました。100ポイント獲得された方はおられますか。是非とも2年目の挑戦には月々の目標をもつて取り組んでください。地域で元気なお年寄りが増えることを願っています。



連日、ボランティア受け入れに追われた「災害ボランティアセンター」

敬老者の集い中止

この度の豪雨災害を受け、9月16日の「敬老者の集い」を中止しました。昨年台風18号の影響で取りやめており、2年続けて楽しみが取り上げられた格好です。対象の皆様には本当に残念な思いです。申し訳なく心よりお詫び申し上げます。式典や宴席は叶わなかったものの、88歳の方への御祝金はお届けいたしました。

口田地区社協管内で今年75歳以上になられた方は1370人。このうち、新たに75歳になられた方は151人でした。高齢化は進み、百歳以上は107歳の高齢者を筆頭に7人です。ついで、90歳台が143人、米寿(88歳)は41人おられます。いつまでもお元気に過ごされ、人生を楽しんで下さい。

福祉まつりは10月20日開催

恒例の福祉まつりは10月20日、口田小体育館をメイン会場として開催予定です。福祉関係の展示品や体験コーナーは口田小の北校舎図書室を活用、会場入り口では例年通り、うどんやせんざい、ポップコーン、綿菓子、コーヒなども販売します。どうぞ楽しみにして下さい。

またステージ発表では各種団体等グループの皆様方のご協力得て、多くのグループの出演申し込みを期待しております。災害の影響で様々な行事が中止となりましたが、地域に元気を取り戻そうと、実施に踏み切りました。よろしくお願ひします。

いきいきサロン

地域別いきいきサロンは五月に梅園自治会(35人)、六月はふじランド町内会(33人)、七月の上矢口町内会サロンは災害のため中

止。10月5日の小田地域サロンから予定通りの日程で開催します。

配食サービスといきいきサロン

社会福祉協議会は各町内会の福祉リーダーさんの協力を得て、独り暮らしのお年寄りを対象に「配食サービス」と、75歳以上を対象にした地域別「いきいきサロン」を実施しています。スケジュールはつぎの通りです。

月	第1回目	第2回目
10月	9日(火)	23日(火)
11月	13日(火)	27日(火)
12月	クリスマス会	25日(火)
1月	休み	22日(火)

※12月11日(火)クリスマス会(口田保育園児との交流) また、1月の1回目は休みとなります。

いきいきサロン開催表

地域別	会場	日程
小田	くちた園	10月5日(金)
矢口	口田集会所	11月7日(水)

愛の灯 善意募金

- ★この募金は、口田地区の福祉活動に活用させていただきます。
- ★香典返し、見舞返し等の虚礼を廃止し、社会福祉のために、あなたの善意をお寄せ下さい。

このたびの豪雨災害に対し、多くの方々から多額の支援金を賜りました。深く感謝いたします。

社会福祉協議会会長 伊藤 昭善
◎募金振込先
JA広島口田支店 口座番号0296920
口田郵便局 口座番号15190-31497851